2014年　5月20日

26年産　佐賀県産「七夕コシヒカリ」

佐賀県で一番最初に収穫されるお米で、旧暦の七夕（8月7日前後に収穫されることから「七夕こしひかり」と命名されました。お盆前の暑い日に刈取りをしますので、収穫後2時間以内に風による乾燥を行い、品質重視の米づくりを心がけています。「七夕こしひかり」は粘りも強く。甘味がありピカピカの炊上りになります。

圃場写真

場所：佐賀県白石地区　　銘柄：七夕コシヒカリ

撮影月日　4月6日

生育概況　　5月10日現在

■七夕コシヒカリ　　生育ステージ：分けつ期
移植（田植）時期4月5日～4月6日
26年産は、昨年より移植（田植）後の平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ初期生育（活着及び分けつ）は順調に進んでおります。
作付面積は25年産米より若干減少しています。